

済生会山形済生病院 薬剤部

Yamagata Saisei Hospital



Homepage



YAMAGATA_SAISEIKAI_YAKUJAI

instagram



X(twitter)



facebook



済生会とは

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44(1911)年に設立しました。100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の三つの目標を掲げ、日本最大の社会福祉法人として全職員約66,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

- 生活困窮者を **済**(すく)う
- 医療で地域の **生**(いのち)を守る
- 医療と福祉、 **会**を挙げて切れ目のないサービスを提供

病、老い、障害、境遇……悩むすべてのいのちの虹になりたい。
済生会はそう願って、いのちに寄り添い続けます。



山形済生病院の理念

MISSION 「仁」 愛と思いやりの医療を提供します

VISION 安心・安全で質の高い医療を提供し、地域の人々に選ばれる病院を目指します
人生のステージに寄り添い、患者さんから信頼される病院を目指します
職員が生きがいと誇りをもてる病院を目指します

VALUE 地域に根差した地域包括ケアシステムの構築に努めます
医療・福祉・保健、それぞれの施設と連携し、患者さんの健康・幸福を目指します
多職種による心に寄り添った包括的支援を届けます
各専門職がそれぞれの専門性を最大限に発揮できるよう努めます

山形県済生会について

山形県済生会は昭和19年5月19日、済生会創立30周年記念事業の一環として、「山形産院」を開設して発足しました。昭和55年の愛日荘開設を機に支部事務局体制が確立し、支部事務局を経営主体として諸事業が進められることとなりました。現在は、めまぐるしく変化する社会に対応できるよう、そして地域に生きる人たちの命を支え、健やかな体がはぐくまれるよう、保健・医療・福祉の増進向上に役立つ活動を行い、社会のニーズに応え続けることを理念としています。

山 形 県 済 生 会 支 部

【病院】
山形済生病院

【訪問看護事業】
山形訪問看護ステーション

【認可保育園】
はやぶさ保育園

【特別養護老人ホーム】
愛日荘
やまのべ荘
ながまち荘
山静寿

【養護(官)老人ホーム】
山静寿

【介護老人保健施設】
フローラさいせい



『東北一番の働きやすさを目指しています！』をキャッチフレーズに、薬剤師36名と助手7名が、持てる力を集結して患者さんの薬物治療に、日々関わっているところです。我々の薬剤部の特徴は何といっても守備範囲を広く、バランスよく、そして価値のある仕事に誇りを持って臨んでおります。日進月歩の世の中ではありますが、我々も『日々是前進』なり。主体的に仕事を進める病院薬剤師の設計図を私たちは持っています。

薬局長 羽太 光範

薬剤部概要

● 薬剤師数 36名（男性16名、女性20名）

● 薬剤助手 7名

[2024年7月実績]

● 1日平均処方箋枚数 外来353枚/日、入院389枚/日

● 院外処方箋発行率 96.0%

● 病棟薬剤業務 実施

● 薬剤師外来 129件/月

● 薬剤管理指導件数 1,304件/月

● 退院時指導 419件/月

● 減数調剤 48件/月





令和4年11月人工関節センター・周産期センター開設

山形済生病院はこれまで、整形外科・産婦人科の診療を柱としてきました。
特色ある病院づくりとして、令和4年11月より人工関節センター・周産期センターを開設し、
今まで以上に地域の医療機関や患者さんに選ばれる病院を目指します。

人工関節 センター

人工関節治療の拠点病院として・・・

整形外科開設から40年、数多くの手術を行っており、現在人工関節手術件数は年間800件以上となっています。

高度な技術が必要とされる人工股関節再置換術は年間20例以上、両側同時膝関節置換術も年間70例以上行っており、難度の高い症例は県外からも紹介があります。



人工関節手術件数年間800件以上



充実のリハビリスタッフ



充実の専門医陣



センター内リハビリルーム

術前から術後、退院まで専門のスタッフが関わります

病棟内にリハビリルームを設置したことで、患者さんが移動せずにリハビリができるようになりました。
専門スタッフによる医療・看護・リハビリの集約的医療を提供します。

周産期 センター

母体と赤ちゃんにとって安全で安心な病院を目指して

ハイリスクな妊婦さんの妊娠管理を行い、搬送される母体や赤ちゃんに必要な高度医療を行っています。また産科外来と産科病棟の一元化により、妊娠初期からお産後まで切れ目のないケアを提供しています。助産師による妊娠各期に応じた保健指導、産後のおっぱい外来などを行っています。



安心して出産できる快適な環境



患者さんが安らげるラウンジ



分娩室(森のお産)



LDRにてご家族と一緒に赤ちゃんを迎えることができます

利便性が高く、心地よい環境を

助産師外来、おっぱい外来、IVF、カウンセリングルームを同じフロアに集約し、患者さんにとって利便性が高く、心地よい環境の中で安心してお産に臨んでいただけるように改善しました。患者さん同士が交流できるサロンや、青空や草花をイメージしたラウンジを設置することで全ての妊婦さんがほっと安らげる空間を目指しています。

◆ 薬剤師外来

外来通院中の患者さんも安全に薬を使っていただくことを目的として、平成30年6月に薬剤師外来が開設しました。薬剤師1名が常駐し、入院前の使用薬の確認、インスリンや抗リウマチ薬などの在宅自己注射の手技指導などを行っています。



◆ 母親学級

妊婦を対象として開催されている母親学級では、医師・看護師・薬剤師から周産期の注意点について説明を行っています。薬剤師からは母親学級の中で周産期に使用する薬剤の説明を行っているほか、薬剤部の電話番号を記載した『授乳と薬剤相談窓口カード』を配布して、随時相談を受け付ける体制をとっています。



◆ 薬薬連携

患者さんが入院・退院を経た後もスムーズに適切な薬学管理を受けることが出来るよう、当院薬剤部と保険薬局では日常的に連携して業務を行っています。月に1度会議を行い、情報共有や業務内容の検討を行っているほか、定期的に勉強会を開催して知識向上を図っています。

昨今、患者さんに質の高い医療を提供するため、チーム医療が重要視されています。私たち病院薬剤師はチーム医療の中、薬の専門家としての知識・技能を駆使して、薬物療法、医薬品の適正使用、医療安全等に貢献することが求められています。

患者さんが安心して、また、安全に医療を受けられるよう、他の医療スタッフと協力しながら、病棟や外来化学療法室、入退院支援室等、病院内の様々なところで業務を行っています。

また、薬学生の長期実務実習受け入れを行い、次世代の薬剤師育成にも取り組んでいます。

病院薬剤師の業務は多岐にわたります。主な業務を以下にご紹介します。

一般調剤



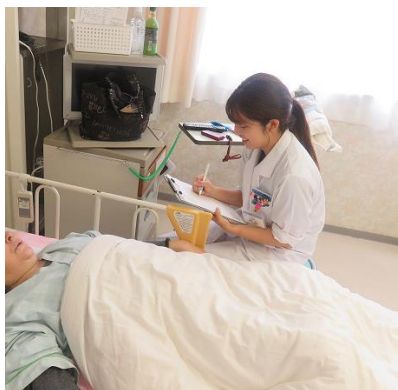
医師の処方に基づき、処方内容について薬の量・飲み方・飲み合わせ・副作用などのチェックを行い、個々の患者さんに適した形で調剤しています。処方内容に疑問点があれば医師に問い合わせ、確認を行っています。

注射薬調製



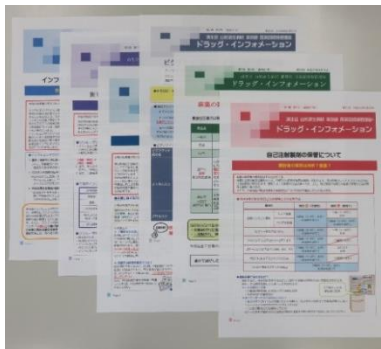
院内処方について、投与量・経路・速度・期間・配合変化などのチェックを行い、注射薬の調製（抗がん薬、高カロリー輸液）や調剤を行います。また、PET薬剤の合成や品質管理も行っています。

薬剤管理指導・病棟薬剤業務



当院では薬剤投与後の「薬剤管理指導業務」に加え、平成25年5月より投与前の「病棟薬剤業務」を開始しました。病棟における薬剤師の活躍の場は更に広がり、私たち薬剤師の仕事は大きな変革を迎えています。

DI



医薬品情報管理室では、専任の薬剤師が医薬品情報の「収集」、「管理」、「伝達」を行っています。インターネット環境を駆使し、各企業のDIセンターや担当MRを通じて基本的な情報を収集しています。

製剤



患者さんの病態やニーズに対応するため、経済性、安定性の面から市販されていない薬剤の調製を行っています。院内特殊製剤の中には、未承認医薬品や試薬を製剤化するもの、適応外使用するものもあり、必要に応じ倫理審査委員会で審査されます。

入退院支援



入退院支援室では、患者さんが安心して入退院できるよう、看護師・薬剤師・MSW・事務職員等がサポートを行っています。薬剤師は、患者さんが服用している医薬品の鑑別（医薬品名・薬効・服用方法等）を行います。また、手術や検査前に中止しなければならない医薬品を確認し、患者さんへ説明を行います。

NST(栄養サポートチーム)



当院のNSTは平成17年にNST稼働施設認定を受け、医師・管理栄養士・看護師などとともに、患者さんの栄養状態を評価し、適切な栄養管理のサポートを行っています。

ICT(感染制御チーム)



ICTは週1回院内を巡回し、院内感染事例の把握を行うと共に、院内感染防止対策の実施状況の把握及び指導を行っています。薬剤師は、抗菌薬の適正使用の観点から、抗MRSA薬のTDM処方設計などに関わっています。

緩和ケアチーム



緩和ケアチームは、医師・薬剤師・看護師・理学療法士・栄養士・MSWなど多くの職種で構成されています。薬剤師は、全人的疼痛に対して薬物治療の面から貢献しています。患者さんへの服薬指導はもちろんのこと、痛みの程度や副作用などの状況を把握し、処方提案を行っています。

糖尿病教室



糖尿病治療を受けられている、入院・外来患者さんを対象にした糖尿病教室が、月に2回開催されています。薬剤師は1回目の教室に参加し、スライドを使いながら、糖尿病治療薬の薬効や副作用、薬の飲み方や使い方、インスリン治療について、低血糖症状と対処方法等をお話しています。

PET/CT



PET/CT検査に使用する放射線薬剤フルオロデオキシグルコース(FDG)は院内の製造施設で製造されます。薬剤師は製造工程で、薬剤の合成から品質管理及び各種検定に関わっています。また、ホットラボ(PET薬剤製造室)の環境測定試験を行うなど、製造衛生管理基準に則った管理を行っています。

薬学実務実習

6年制薬学教育の導入で必修となった、薬学生長期実務実習の受け入れを行っています。

実習内容は、注射剤の調剤や無菌調製、ベッドサイドでの服薬指導といったカリキュラムの内容に加え、病棟業務、ICT、NST、緩和ケア、がん化学療法等のチーム医療への参加等、病院ならではの業務を経験できるよう取り組んでいます。



薬剤投与計画

抗MRSA薬など投与量の調整が必要な薬剤について、薬物治療モニタリング(Therapeutic Drug Monitoring: TDM)を行っています。薬物血中濃度を基に、患者の検査データ、年齢、疾患、臨床症状などの情報を考慮し、より安全でより効果的な投与量・投与方法を設計し、医師に情報提供を行うことで個々の患者さんに合わせた適切な薬物療法を支えています。



薬剤師 **本田 貴朗** 2009年入職

Q1 現在の取得している資格を教えてください

感染制御認定薬剤師

Q2 資格取得時の職務年数は何年ですか？

8年

Q3 資格取得に向けて活動を開始したのはいつ頃からですか？

職務年数5年時

Q4 資格の取得を希望したきっかけを教えてください

自分自身どの専門分野に興味があるのかわからず悩んでいた時期に、感染業務について先輩薬剤師から話がありました。当初は感染分野にそれほど興味があつたわけではありませんでしたが、少しずつ業務に携わる中で資格取得を目指していきたいと思ったことがきっかけです。すでに資格を取得している先輩薬剤師がいたことも心強いサポートとなりました。

Q5 資格取得後の業務内容

ICTやASTへの参加、院内感染対策研修会の開催
抗菌薬血中濃度モニタリング(TDM)の実施
特定抗菌薬使用状況の把握・指導 など

Q6 薬学生の方へメッセージをお願いします

当院の薬剤部では現在、セントラル業務はもちろんのこと、入職1年目より病棟業務に参加し担当病棟をローテーションすることで、複数の診療科や多くの疾患を経験することが可能です。そのため専門知識の幅を広げて資格取得につながる環境にあり、きっと興味のある分野やさらに理解を深めたい分野が見つかることでしょう。
お互い協力し支えあいながら仕事をすることができます。当院の薬剤部で一緒にスキルアップをしませんか？

各種資格等取得状況

当院の薬剤部には、36名の薬剤師が在籍し、最新の医療を安全に提供するため、日々研鑽に励んでおります。ここでは、当院の薬剤師が取得している主な資格をご紹介します。

※資格名(取得人数)

日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師	2名
日本病院薬剤師会	感染制御認定薬剤師	3名
日本病院薬剤師会	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	1名
日本栄養治療学会	栄養サポートチーム(NST)専門療養士	2名
日本糖尿病療養指導士		2名
日本薬剤師研修センター	認定実務実習指導薬剤師	3名
日本薬剤師研修センター	研修認定薬剤師	5名
日本病院薬剤師会	病院薬学認定薬剤師	14名
周術期管理チーム	認定薬剤師	1名
山形県糖尿病療養指導士		2名
骨粗鬆症マネージャー		2名
救急認定薬剤師		1名
認定クリニカル・トキシコロジスト		1名
診療情報管理士		1名
ケアマネージャー		2名
	他	

(2024年11月1日現在)



薬剤師 吉岡 大河 2024年入職

Q1 現在の業務内容を教えてください

内服薬、注射薬の調剤・監査や抗がん剤の調製、病棟業務などを担当しています。

Q2 当院を選んだ理由を教えてください

当院では早い時期から病院薬剤師の多岐に渡る業務を経験できるため、志望しました。

Q3 やりがいを感じるのはどんな時ですか？

毎日何かを学べること、自分の成長を感じることに、多職種と連携して人の健康・笑顔のために働けることにやりがいを感じています。

Q4 職場の雰囲気を教えてください

当たり前ですが仕事ですので、基本的に各々しっかりと寡黙に業務に当たっています。ただ、その中でもたまに差し込まれる世間話で笑いがこぼれたりもします。頼れる方々ばかりでいつも助けられています。

Q5 薬学生へメッセージをお願いします

薬学部の学生さんへ になりますが、病院どうですか？薬局もドラッグストアもいいかもしれませんが、楽しいですよ、病院。もう一度言いますが病院どうですか？



1年目のスケジュール

当直デビュー





薬剤師 小林 瑠夏 2024年入職

Q1 現在の業務内容を教えてください

内服薬・注射薬調剤、抗がん剤調製、病棟業務(循環器内科、糖尿病内分泌内科、消化器内科病棟)を担当しています。用法用量や相互作用・重複投与の確認、副作用モニタリングなどを通して患者さんの薬物治療に携わっています。

Q2 当院を選んだ理由を教えてください

インターンシップに参加したときに雰囲気の良さを感じたのが一番の決め手でした。また、1年目の早い時期から病棟業務に入り、チーム医療の一員として携われるところにも魅力を感じました。

Q3 やりがいを感じるのはどんな時ですか？

入院時から関わっていた患者さんが元気になって退院していくときや、「ありがとう」と声をかけていただいたときはとてもやりがいを感じます。

Q4 職場の雰囲気を教えてください

インターンシップのときに感じた雰囲気の良さは間違いではなかった！と自信を持って言えるくらいとても雰囲気の良い職場だと思います。特に初めの頃は分からないことばかりでしたが、誰に声をかけても優しく教えてくださるので安心して働くことができます。

Q5 薬学生へメッセージをお願いします

就職説明会やインターンシップなどで話を聴くだけでなく、実際に現場に足を運んで雰囲気を感じてみると良いと思います。病院薬剤師に興味のある方はぜひ見学に来てみてください。



薬剤師臨床研修プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	初期研修				病棟 診療科[A]				病棟 診療科[B]			
2年目	病棟 診療科[C]				病棟 診療科[D]				病棟 診療科[E]			
3年目	病棟 診療科[F]				病棟 診療科[G]				病棟 診療科[H]			



薬剤師

那須 結衣 2023年入職

Q1 現在の業務内容を教えてください

内服薬・注射薬調剤、抗がん薬調製、病棟業務（産婦人科、整形外科病棟）を担当しています。薬の効果や副作用のモニタリングを行い、他職種と連携しながら治療に携わっています。

Q2 当院を選んだ理由を教えてください

インターンシップに参加し、病棟業務はもちろん、入退院支援室や薬剤師外来などの業務を通して、患者さんと継続的に深く関わることができることに魅力を感じました。

Q3 やりがいを感じるのはどんな時ですか？

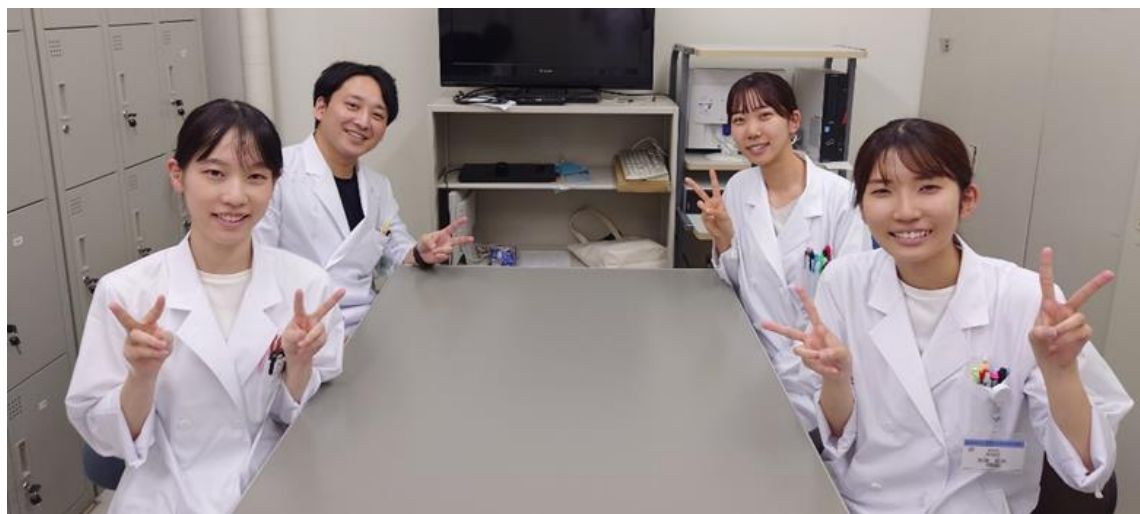
患者さんとお話しながら、薬についての悩みを解決できたときはやりがいを感じます。また、患者さんや他職種の方に「ありがとう」と言ってもらえるときは非常に嬉しいです。

Q4 今後の目標を教えてください

日々の業務を通して知識を深め、患者さん一人一人のより良い薬物治療に繋がっていきたいです。

Q5 薬学生へメッセージをお願いします

薬剤部の雰囲気の良さが、当院を選んだ決め手の一つでした。是非、病院見学等で現場の雰囲気を感じてみてください。





薬剤師

川合 里奈 2022年入職

Q4 薬学生へメッセージをお願いします

就職を決めるときに、職場に何を求めるのかは人それぞれ違うと思います。妥協せず将来についてよく考えて就職活動を行ってください。そして数ある中から当院を選んでいただけたら嬉しいです。

Q1 現在の業務内容を教えてください

内服薬・注射薬調剤、抗がん薬調製、病棟業務(循環器内科・消化器内科・糖尿病内分泌内科病棟)を担当しています。継続時に患者さんと関わることでより深く状態を把握し、薬の効果や副作用などのモニタリングを行っています。また、今ある問題点について、薬剤師としての視点で他職種と連携を取りながら治療に携わっています。

Q2 やりがいを感じるのはどんな時ですか？

病棟にて患者さんとお話し、薬学的な面から悩み解決に向けて働けたときにやりがいを感じました。そうしていく中で患者さんから覚えていただけたたり、ありがとうと声をかけていただけたりしたときは、とても嬉しかったです。

Q3 今後の目標を教えてください

知識の習得や様々な経験を通して日々の業務につなげていきたいです。その中で、自分が本当に興味のある領域を見つけていければと思います。



薬剤師

松田 啓孝 2022年入職

Q4 薬学生へメッセージをお願いします

私自身そうでしたが、就職先を病院と薬局等で迷っている学生も多いと思います。病院薬剤師に少しでも興味がある方は、気軽に見学に来て当院の薬剤部の雰囲気や業務内容を経験して、一緒に働きたいと思ってくれたら嬉しいです。

Q1 現在の業務内容を教えてください

病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務、内服薬・注射薬調剤、抗がん薬調製等を行っています。病棟業務は外科・泌尿器科病棟を担当しています。入院患者さんの持参薬を確認し、継続の有無や入院中の薬剤との相互作用・重複投与の確認等を行っています。また服薬指導時には体調の変化や副作用の有無を聞き取り、適切な薬学的管理が行われるよう心掛けています。

Q2 やりがいを感じるのはどんな時ですか？

1年目から病棟業務を担当させていただき、多くの患者さんに関わることが出来ました。その方が元気になって退院していく様子を間近で見られることが嬉しいです。また薬の変更や追加提案を行い、患者さんの治療の手助けが出来たと感じたときにやりがいを感じます。

Q3 今後の目標を教えてください

患者さんだけではなく、医師や看護師の方からも頼られる薬剤師になりたいと思っています。そのために豊富な知識と話しやすい雰囲気をもてるよう頑張ります。現場では応用が多く、大学で学んだ知識を活かしていないこともあり、力不足を痛感する毎日ですが、日々の業務で学んだことを次に活かしていけるようコツコツ勉強したいと思います。

出産・育児のサポート

妊娠・出産・育児に関する支援を充実させることで、仕事と家庭を両立させながら、長く働き続けられる職場づくりを目指しています。

☆ 院内保育所・病児保育所の併設



☆ 出産・育児のための休暇休業



- ・出産休暇(3日)
- ・育児休業(1歳の誕生日の前日まで)



- ・妊娠時間短縮勤務(始業終業それぞれ30分)
- ・産前休暇8週間取得可能(法定では6週間)
- ・育児休業(1歳の誕生日の前日まで)
- ・育児短時間勤務(3歳の誕生日の前日まで)

など

☆ 山形いきいき子育て応援企業
「優秀(ダイヤモンド)企業」認定

☆ 山形企業イクボス同盟参加企業



暮らしのサポート

☆ 職員宿舎 ドミトリー済生

ご実家が遠方の方等のために、病院の敷地内に宿舎を完備。低額の自己負担が魅力で、多くの先輩職員が利用しています！

- ・1DK フローリング・バルコニー付
- ・月額30,000円
※駐車場1台、上下水道代を含む
- ・独身者に限りませんが、山形市内在住者も利用できます



特別優待サービスの充実

☆ 会員制ホテル 東京ビュック

東京出張などの業務での利用はもちろん、プライベートでの旅行など家族での利用も可能です！

- ・東京都中央区勝どき
都営地下鉄大江戸線「勝どき駅」より徒歩1分
- ・格安な利用料金



☆ モンテディオ山形(サッカー)

スポンサー特典としてホームゲーム招待券をプレゼントしています。

互助会制度の充実

山形県済生会には、相互扶助を基本理念とし、医療費・慶弔費等において追加給付を行う制度があります。

給付の内容としては、医療費給付や慶弔祝金等給付（結婚・出産・永年勤続・香典・傷病見舞等）があり、職員だけではなく配偶者や扶養親族にも適用されます。

医療費給付

外来診療（本人）

保険診療負担2,500円を超えた額

入院診療（本人）

保険診療負担10,000円を超えた額

分娩（当院での分娩のみ）

出産一時金を控除した額

職員の健康管理



☆ 各種がん検診

乳がん・子宮頸がん・前立腺がん・胃がん

☆ 各種予防接種

麻疹、風疹、ムンプス、水痘抗体価検査・ワクチン接種

HBs抗体価検査・ワクチン接種

インフルエンザワクチン接種

☆ PET/CT検査

職員の割引制度があり、職員や配偶者は通常の利用料金の半額で検査を受けることができます

☆ 職員対象の「健康運動教室」

ほかにも充実した制度があります

☆ 本部共済事業

当院では済生会の退職金2本立てに加入しており、充実した退職金が受け取れます。

また在職時には低利で資金を貸し付ける制度もあります。

☆ クラブ活動助成

院内には10のクラブがあり、病院から活動費の補助が出ています。

サッカー部、ソフトボール部、バスケットボール部、華道部、登山部、卓球部、ボウリング部 など

国際貢献 -山形ダッカ友好病院-



バングラディッシュの首都ダッカには「山形ダッカ友好病院」があり、当院はその後援事務局として活動しています。

令和4年9月、山形ダッカ友好病院院長のラーマン医師が、医療分野における日本・バングラデシュ間の友好親善に貢献したことを称えられ、旭日双光章を授与されました。



ACCESS

- お車で
JR山形駅より15分、
国道13号線大野目交差点より5分
- 列車で
JR羽前千歳駅下車、徒歩10分
- バスで
シャトルバスをご利用ください
- 路線バスの場合
「山交ビル・山形駅前～天童温泉・楯岡北町行き」
「千歳」バス停下車、徒歩10分

問い合わせ先

〒990-8545

山形県山形市沖町79-1

社会福祉法人 恩賜財団 済生会山形済生病院 人事課 今野

TEL 023-682-1111

E-mail jinji@ameria.org

<https://www.ameria.org>



当院ホームページ



マイナビ2026